

聖霊降臨後第13主日特禱（特定18）

主よ、どうか主の民に世と肉と悪魔の誘惑に打ち勝つ恵みを与え、清い心と思いをもって、唯一の神に従うことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

旧約聖書 申命記 30章 15-20節

15 見よ、わたしは今日、命と幸い、死と災いをあなたの前に置く。16 わたしが今日命じるとおり、あなたの神、主を愛し、その道に従って歩み、その戒めと掟と法を守るならば、あなたは命を得、かつ増える。あなたの神、主は、あなたが入って行って得る土地で、あなたを祝福される。17 もしあなたが心変わりして聞き従わず、惑わされて他の神々にひれ伏し仕えるならば、18 わたしは今日、あなたたちに宣言する。あなたたちは必ず滅びる。ヨルダン川を渡り、入って行って得る土地で、長く生きることはない。19 わたしは今日、天と地をあなたたちに対する証人として呼び出し、生と死、祝福と呪いをあなたの前に置く。あなたは命を選び、あなたもあなたの子孫も命を得るようにし、20 あなたの神、主を愛し、御声を聞き、主につき従いなさい。それが、まさしくあなたの命であり、あなたは長く生きて、主があなたの先祖アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓われた土地に住むことができる。

詩 編 第1編

- 1 幸せな人、それは神に逆らう者の謀りごとに歩まず // 罪人の道に立たず、あざける者とともに座らない人
- 2 主のおきてを喜び // そのおきてを昼も夜も思う人
- 3 流れのほとりに植えられた木のように // 時が来れば実を結び
- 4 葉もしおれることがなく // この人は何をしてもすべては実る
- 5 神に逆らう者はそうではなく // 風に飛ばされるもみ殻
- 6 神に逆らう者は審きに耐えられず // 罪人は神に従う者の集いに耐えられない
- 7 神に従う者の道は神に守られ // 神に逆らう者の道は滅びに至る

使徒書 フィレモンへの手紙 1章 1-20節

1 キリスト・イエスの囚人パウロと兄弟テモテから、わたしたちの愛する協力者フィレモン、2 姉妹アフィア、わたしたちの戦友アルキポ、ならびにあなたの家にある教会へ。3 わたしたちの父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、あなたがたにあるように。

4 わたしは、祈りの度に、あなたのことを思い起こして、いつもわたしの神に感謝しています。5 というのは、主イエスに対するあなたの信仰と、聖なる者たち一同に対するあなたの愛とについて聞いているからです。6 わたしたちの間でキリストのためになされているすべての善いこ

とを、あなたが知り、あなたの信仰の交わりが活発になるようにと祈っています。 7 兄弟よ、わたしはあなたの愛から大きな喜びと慰めを得ました。聖なる者たちの心があなたのお陰で元気づけられたからです。

8 それで、わたしは、あなたのなすべきことを、キリストの名によって遠慮なく命じてもよいのですが、 9 むしろ愛に訴えてお願いします、年老いて、今はまた、キリスト・イエスの囚人となっている、このパウロが。 10 監禁中にもうけたわたしの子オネシモのことで、頼みがあるのです。 11 彼は、以前はあなたにとって役に立たない者でしたが、今は、あなたにもわたしにも役立つ者となっています。 12 わたしの心であるオネシモを、あなたのもとに送り帰します。 13 本当は、わたしのもとに引き止めて、福音のゆえに監禁されている間、あなたの代わりに仕えてもらってもよいと思ったのですが、 14 あなたの承諾なしには何もしたくありません。それは、あなたのせつかくの善い行いが、強いられたかたちでなく、自発的になされるようにと思うからです。 15 恐らく彼がしばらくあなたのもとから引き離されていたのは、あなたが彼をいつまでも自分のもとに置くためであったかもしれません。 16 その場合、もはや奴隷としてではなく、奴隷以上の者、つまり愛する兄弟としてです。オネシモは特にわたしにとってそうですが、あなたにとってはなおさらのこと、一人の人間としても、主を信じる者としても、愛する兄弟であるはずで

17 だから、わたしを仲間と見なしてくれるのでしたら、オネシモをわたしと違って迎え入れてください。 18 彼があなたに何か損害を与えたり、負債を負ったりしていたら、それはわたしの借りにしておいてください。 19 わたしパウロが自筆で書いています。わたしが自分で支払いましょう。あなたがあなた自身を、わたしに負っていることは、よいとしまししょう。 20 そうです。兄弟よ、主によって、あなたから喜ばせてもらいたい。キリストによって、わたしの心を元気づけてください。

福音書 ルカによる福音書 14 章 25-33 節

25 大勢の群衆が一緒について来たが、イエスは振り向いて言われた。 26 「もし、だれかがわたしのもとに来るとしても、父、母、妻、子供、兄弟、姉妹を、更に自分の命であろうとも、これを憎まないなら、わたしの弟子ではありえない。 27 自分の十字架を背負ってついて来る者でなければ、だれであれ、わたしの弟子ではありえない。 28 あなたがたのうち、塔を建てようとするとき、造り上げるのに十分な費用があるかどうか、まず腰をすえて計算しない者がいるだろうか。 29 そうしないと、土台を築いただけで完成できず、見ていた人々は皆あざけて、 30 『あの人は建て始めたが、完成することはできなかった』と言うだろう。 31 また、どんな王でも、ほかの王と戦いに行こうとするときは、二万の兵を率いて進軍して来る敵を、自分の一万の兵で迎え撃つことができるかどうか、まず腰をすえて考えてみないだろうか。 32 もしできないと分かれば、敵がまだ遠方にいる間に使節を送って、和を求めるだろう。 33 だから、同じように、自分の持ち物を一切捨てないならば、あなたがたのだれ一人としてわたしの弟子ではありえない。」